



2022年2月1日発行
No.63
 編集
 伊豆の国市議会だより特別委員会
 〒410-2292 静岡県伊豆の国市長岡340-1
 ☎ 055-948-1417 FAX 055-948-2913
<http://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/>

伊豆の国市 議会だより



鎌倉殿の13人 伊豆の国 大河ドラマ館



菫山時代劇場

12月定例会

- 年頭のご挨拶 ○○○○○○○○○○ 2
- 常任委員会報告 ○○○○○○○○○○ 3
- 一般質問 ○○○○○○○○○○ 4~11
- 議決結果・賛否一覧 ○○○○ 12
- 議会の動き

鎌倉殿の13人 伊豆の国 大河ドラマ館

菫山時代劇場の日だまり広場の周りに、大河ドラマ館、伊豆の国物産館、義時の里（文化財展示）、観光案内所などが配置されています。大河ドラマ館は令和4年1月15日からオープンしました。



議会から年頭のご挨拶



謹んで初春のお慶びを申し上げます。日頃より市議会へのご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。

伊豆の国市議会は昨年4月の改選を経て、新しい体制となりました。新型コロナウイルスに世界中が翻弄され、将来に明るい展望が見出せない社会ではありますが、市民の皆様によりよい暮らしを目指し、議会として努力して参ります。

グローバル化により、新たな感染症が拡大し、国際的な対応が迫られるなか、日本も国としての対策が問われています。そして地方自治体は国や県の動向に大きく影響を受けることとなります。国政も私たちの暮らしに無関係ではありません。しかし、昨年二度の国政選挙への関心は低く、政治への不信感、諦めのムードが投票率に現れました。

主権者である国民ひとりひとりの一票が社会を変え

るといふ実感がなく、政治に期待も関心ももてない。選挙に参加しないことでますます政治が暮らしから離れていくという悪循環が生まれるのです。まずは政治と暮らしが直結していることを身近に感じることが大切ではないでしょうか。

伊豆の国市議会では開かれた議会の実現に向け、FM 伊豆のくに生中継に加え、昨年9月議会よりインターネット動画配信を始めました。ライブ中継の他、録画された映像をいつでも視聴できます。（議会だよりのQRコードでも簡単に検索できます。）本会議や委員会、議会全員協議会等は傍聴も可能です。

「地方自治は民主主義の学校」といわれます。地方自治は民主政治の原点です。まさに地方自治法は戦後、日本国憲法と同時に施行されました。地方自治は地域住民の利益を第一に考える政治体制

であり、さらに地方分権一括法により、自分たちの地域のことは自分たちで決めていこうという理念が確立しました。地方自治体は二元代表制なので日本国家より住民の意見を反映させやすく、民主主義の理想政治体制に近いのです。

令和3年度も議会報告会を開くことができませんが、来年度の報告会開催に向け準備をしています。また、議員一人ひとりがその責務を自覚し、市民の皆様から頂いたご意見を迅速に市政へ反映させるよう、資質向上に努めて参ります。議会へのご意見もお待ちしております。

皆様のご多幸をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

伊豆の国市議会議員 一同

総務観光建設委員会

令和3年度一般会計補正予算について

■企業版ふるさと寄附金1020万円の説明を。

1020万円の内訳は、2社あり、1社が沼津に本社があるIT関係の企業から20万円。もう1社が三島の総合建設業の会社から1千万円、合計で1020万円の寄附を受けている。

企業版ふるさと納税の制度の概要

は、国のまち・ひと・しごと創生寄附活用事業の制度で、伊豆の国市が認定を受けた地域再生計画に記載されている事業に対して寄附を行った場合、地方税法、租税特別措置法の定める法人県民税、事業税、市町村民税、これらの課税について特例が適用されるといふ制度になる。なお、企業版ふるさと納税の返礼品はない。

■市営住宅維持補修事業 入居者移転補償67万4千円は2戸分だが、移転補償の上限の金額は決まっているのか。

毎年、損失補償算定標準書が発行され、これに基づいて計算した金額になる。今回については、三福住宅の1戸当たりの住宅面積に対する動産移転料という形になっている。

■この移転に関しての状況だが、完了までの見通しや、現状の交渉はスムーズに行っているのか。

三福住宅については、今年度末までに移転交渉は全て終了している。全世帯立ち退きをしてもらい、令和4年度に解体を考えている。

閉会中の継続調査(令和3年10月20日)

「かわまちづくり計画の進捗状況と現場視察」

官民連携手法の一つである公募型設置制を活用することで、市の負担を軽減しつつ、都市公園の質の向上や利用者の利便性を図ることを検討している。現地を図面と照らし合わせて内容を調査した。



かわまちづくり計画予定地(神島地内)

福祉文教経済委員会

令和3年度一般会計補正予算について

■児童発達支援事業 児童発達支援給付費1319万4千円について放課後等デイサービス利用料が増えた理由は、支給決定者数は124人で変わっていないが、事業所は4月以降5か所に増えたことにより預けやすくなり、延べ利用者数が増えているため。

■衛生施設災害復旧事業 工事費用1568万4千円について、斎場のり面が崩れた原因と復旧工法は。

自然降雨が浸透した差し水によると推測する。崩れた面に土を貼り付けていき、高さ5mまで行ったら平場を取り、差し水を

外に逃がすための面の集水という対策を考えており、暗渠排水工を合わせて施工する。



斎場のり面崩落現場

■感染症対策課職員人件費事業 新設

した感染症対策課について説明を。

これまで健康づくり課がワクチン接種業務を担ってきたが、通常の予防接種・健康相談・健診に加えての業務は、かなりのボリュームであり、3回目接種については専属の課を構築しなければ回っていかないと判断した。感染症対策課職員は5人だがこれでは足りず、派遣の方や健康づくり課職員などに兼務してもらいながら臨んでいく。

■幼稚園施設維持補修事業 2百万円の富士美幼稚園雨漏り対策について、築年数と内容の説明を。

平成17年に開園。令和元年にも屋上のクラック(ひび割れ)があり、屋上の防水工事を行っている。今年8月に園舎廊下天井の石膏ボードが雨漏りによって一部落下し、施設全体を再度安全点検しようということになった。雨漏りの原因が特定された箇所は修繕をし、特定されなかった箇所については調査委託業務として計上した。

■放課後児童教室施設維持補修事業 大仁北小第2あすなる館増設費用420万円について説明を。

校舎1階部に増設。18人の定員増で、63人の受け入れが可能になる。今後、指導員の増員も考えている。